

子どもお仕事参観日 Vol.4 社会福祉法人平鹿悠真会

子ども お仕事参観日

『子どもお仕事参観日』とは、パパ・ママが普段どんな職場で働いているか子どもたちが見学する日。子どもと職場の人たちが交流することで、それぞれに大事な家族がいるんだ、お互い助け合っていこう、と職場の皆さんに再認識してもらう特別な 1 日です。

今回の訪問先はこちら！



社会福祉法人平鹿悠真会

(横手市)

全個室ユニットタイプの特別養護老人ホーム・悠西苑を運営し、介護サービスの提供を横手市平鹿地区で行っている会社です。

今回の参加者はこちら！

7人のパパ・ママのお子さん、7人です。

しおねさん（15）

じんくん（10）

こたろうくん（11）

はるきさん（8）

れなさん（9）

みおんさん（11）

ゆあんくん（11）

『子どもお仕事参観日』
はじまります！

自己紹介をしよう！

土曜日の昼下がり、社会福祉法人平鹿悠真会が運営する特別養護老人ホーム・悠西苑の会議室に子どもたちがパパ・ママと一緒に集まりました。

集まった子どもたちの大半は、悠西苑を訪れたことがありましたが、今日はただの訪問ではありません。パパ・ママの職場を見学し、お仕事の体験ができるのです！

皆の前で、辻田施設長が『子どもお仕事参観日』と施設についてお話をしてくれました。キーワードをそろえて並べ替えるゲームもあるようです。

それから、今日のお願いとして①挨拶は元気にしましょう。②遠慮なく聞きましょう。③そして感謝しましょう。の3つがあげられ、皆真剣に聞いていました





辻田施設長のお話の後は、簡単な自己紹介をしました。

皆の前でお話するので何人かかたい表情の子どもたちでしたが、お名前や学年、今頑張っていることなどを発表していくうち、笑顔が出てきたようですね！

施設はどうなっているかな？

自己紹介が終わり、施設内を見学することになりました。

まずは、パパ・ママが職場に来たときと帰るときに使うタイムカードを使ってみます。ここでは、パパ・ママが使っているのを見たことがある！という子どもたちがありました。

次々と機械にタイムカードをかざしていく子どもたちを見て、パパ・ママから“ちゃんと出勤したか〜？”といった声かけられていました。



無事に“出勤”できたら、次は施設内の見学です。

悠西苑は2階建ての施設です。まずは1階にある浴室やリネン室、医務室、技術員室のほか利用者の方々が団らんで利用する広間などを見て回ります。2階にはベランダもありました。

子どもたちが見学する中、所々でパパ・ママが施設内の説明をします。

おや、ママに車いすを押してもらっている子もいますね。楽しそう！

施設内ではお仕事中のスタッフさんたちもおり、出会うたび子どもたちから元気なあいさつがされていました。



屋外では、悠西苑の正面入り口の前に車いすの方も利用できる介護車両が止まっていた。スタッフさんに教えてもらってスイッチを操作すると、台が上下したり、スロープが出入りしたりします。その動きはゆっくりで、利用者の方々の負担にならないようになっていました。

パパ・ママのお仕事を体験しよう！

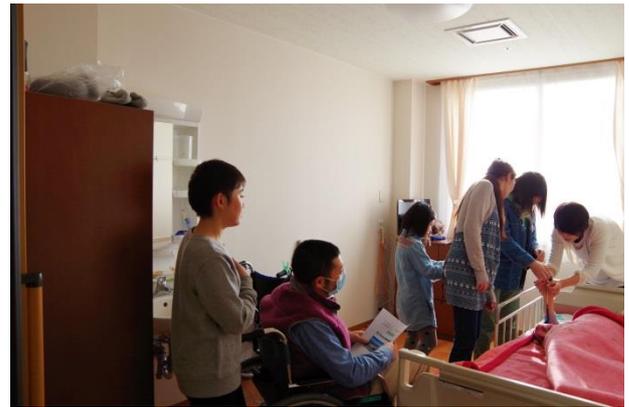
施設見学の後は、いよいよパパ・ママのお仕事体験の時間です。

ここでは、パパ・ママのお仕事に応じて3つのグループに分かれました。

看護のグループは、最初に医務室に向かいました。今日の体験は、利用者さんの血圧測定です。

パパ・ママから説明を聞いた後、血圧を測る機器と結果を記入する用紙をもって、各ユニットを回ります。

より正確な数値を確認するため、何回か測ってから数値を記入していく子どもたちは、パパ・ママと同じくらい真剣な表情でした。



介護のグループでは、介護用のお風呂の操作の体験です。

一般家庭のお風呂とは異なるかたちの浴槽が2つほどあり、そのうちの1つを操作してみます。お風呂の操作と平行して、利用者さんを乗せるストレッチャーの準備をし、お湯をはった浴槽にセットしました。利用者さんが熱くないかどうか浴槽に表示される温度計を見て確認する、というママの説明を聞いて、同じように温度計を確認していました。



事務のグループでは、名刺交換と電話対応の体験です。

それぞれのお名前が入ったカードをパパ・ママから受け取り、辻田施設長と名刺交換します。名刺を受け取ったり、渡したりする経験は、将来のお仕事にも役立ちそう。

パパ・ママやスタッフさんは、大人顔負けに名刺交換をする2人を微笑ましげに見守っていました。



感謝のメッセージと“えがお”のキーワード！

パパ・ママの職場のお仕事体験を終えて、子どもたちが再度集まってきました。

最後は子どもたちからメッセージを送る時間です。

『子どもお仕事参観日』に参加してみて、普段のパパ・ママに対する気持ちに変わったところがあったかな？

子どもたちの素直な言葉でつづられたメッセージに、パパ・ママはにっこり！



メッセージの受け渡し後は、辻田施設長から施設内を見学した時に見つけたキーワードの答え合わせがありました。

キーワードは“えがお”。これは悠西苑で大切にしていることです。

1番はじめの3つの願いを心がけて、皆が笑顔になるように、という辻田施設長からのメッセージです。



記念撮影も笑顔でパチリ！参加者皆の思い出に残る1日となった『子どもお仕事参観日』でした。



『子どもお仕事参観日』を終えて

<パパ・ママから>

- 職場では子どもについて話題になることが結構あります。同じグループのスタッフに子育て中の人があまりいなくても子どもの話になることがありますね。
- PTAなどはシフトの調整で対応しています。子どもは急に体調を崩すことなどがありますが、そういった場合でも休みを取りやすい環境だと思います。
- 普段から職場に来ていても、今日のように自分の仕事を体験させることはなかなかありません。『子どもお仕事参観日』は、子どもの社会勉強や視野を広げたり、親の仕事をイメージしたりする機会になると思います。
- 他の家族と一緒に働くスタッフと交流する良い機会ではないでしょうか。

<職場の方から>

- 子育て中のスタッフの子どもたちは、産休中～小学校入学後でもちょこちょこ訪れてくれています。子どもに関する休み以外にも、学校のことや進路のことなどスタッフと話すことはよくあります。また、余裕を持った人員配置により、急な休みの取得にも対応できる環境を整えています。今回の取組は単なる見学ではなく、パパ・ママや他の家族、スタッフたちとの交流をとおり、当法人で大切にしている事柄に触れ、身につけてもらう機会にしたいと思っています。



社会福祉法人平鹿悠真会さん ありがとうございました！

秋田県は、仕事と育児・家庭を両立しやすい職場づくりを応援しています！

詳しくは、秋田県企画振興部人口問題対策課まで Tel：018-860-1249

こちらをご覧ください。

○秋田県少子化対策総合ウェブサイト ベビーウェーブ・アクション

<http://common3.pref.akita.lg.jp/babywave/>

○ベビーウェーブ・アクション Facebook

<https://www.facebook.com/babywave>